

生活単元学習 学習指導案

日 時：令和7年12月 日（ ）

場 所：小学部 組教室

対象者：小学部 組 年生 名

指導者：T1

T2

1. 単元名「クリスマスパーティーをしよう」

2. 児童の実態

本学級には3年生5名の児童が在籍している。それぞれの児童の実態については次の通りである。

児童	本単元に関わる実態
A 児	<p>自閉スペクトラム症、知的障がい</p> <p>【太田ステージ評価】</p> <p>【S-M 社会生活能力検査】</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な言葉や単語で、状況や気持ちを伝えようとする事ができる。</li> <li>・イラストとひらがなによる全日提示の紙スケジュールを使用している。</li> <li>・1番になりたいという思いが強く、友だちと競う様子が見られる。</li> <li>・ひらがなとカタカナを概ね読み書きすることができる。</li> </ul> <p>〔本単元に関わる実態〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真付きの手順書を見て簡単な活動に一人で取り組むことができる。</li> <li>・もっているイメージを下書きしてから作品を制作することができるようになりつつある。</li> <li>・行事に関わる制作活動やパーティーに意欲的に取り組むことができる。</li> </ul>
B 児	<p>知的障がい、自閉スペクトラム症</p> <p>【太田ステージ評価】</p> <p>【S-M 社会生活能力検査】</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設定された場面でクレーン行動や『お願いします』カード等で援助要求をすることができる。</li> <li>・具体物によるスケジュールを使用している。</li> <li>・バイндナーの端に貼られたシールをつまみ取って対象物に貼ることができつつある。</li> <li>・教員の呼名で前に出ることができる。</li> <li>・3種類のカップやお皿を弁別して重ねることができる。</li> </ul> <p>〔本単元に関わる実態〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆を使って段ボールに絵の具を色づけすることができる。</li> <li>・身体的支援を受けてはさみやのりを使うことができる。</li> <li>・材料や道具が入った自分のかごを所定の位置に戻すことができる。</li> <li>・ボールやストロー等のプットインができる。</li> </ul>
C 児	<p>知的障がい</p> <p>【太田ステージ評価】</p> <p>【S-M 社会生活能力検査】</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な言葉や単語で、状況や気持ちを伝えようとすることができる。</li> <li>・写真やイラスト、ひらがなによる差し込み式の全日提示スケジュールを使用している。</li> <li>・人が大勢いる場面では、パーティションを活用することで落ち着いて活動に取り組むことができる。</li> <li>・ひらがなのなぞり書きをすることができる。</li> </ul> <p>〔本単元に関わる実態〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1工程ずつ提示した写真付きの手順書を見て、一人で活動することができるようになってきている。</li> <li>・行事に関わる制作活動やパーティー等に意欲的に取り組むことができる。</li> <li>・振り返りの場面において、頑張った箇所等を簡単な言葉で発表することができる。</li> </ul>
D 児	<p>知的障がい、自閉スペクトラム症</p> <p>【太田ステージ評価】</p> <p>【S-M 社会生活能力検査】</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活場面で簡単な言葉のやりとりができ、図工の発表等で教員の質問に答えたり頑張ったことを伝えたりすることができる。</li> <li>・イラストとひらがなによる全日提示の紙スケジュールを使用している。</li> <li>・意図が伝わりにくい活動や新しい活動等は、視覚的支援を用いて事前に内容を説明すると落ち着いて活動に取り組めることが多い。</li> <li>・友だちを意識しすぎるあまり相手が気にする言葉を言ってしまうことがある。</li> <li>・ひらがなを視写することができる。</li> </ul> <p>〔本単元に関わる実態〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イラストや写真付きの手順書を手がかりに一人で簡単な活動に取り組むことができる。</li> <li>・テーマに沿ったイラストを自分なりに考えて描くことができる。</li> <li>・事前に活動内容を説明することで、最後まで役割を果たすことができる。</li> </ul>
E 児	<p>知的障がい、自閉スペクトラム症、ADHD</p> <p>【太田ステージ評価】</p> <p>【S-M 社会生活能力検査】</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション支援アプリ「DropTap」やコミュニケーションボード等を用いて、挨拶や余暇活動の選択、トイレに行く際の報告をすることができる。</li> <li>・写真やイラスト、ひらがなによる差し込み式の全日提示スケジュールを使用している。</li> <li>・要求が通らない時に、教員の顎を強い力で掴むことがある。</li> <li>・文字のシールをマッチングして貼ることができる。</li> </ul> <p>〔本単元に関わる実態〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆やローラーを使って段ボールに絵の具を色づけすることができる。</li> <li>・身体的支援を受けてはさみやのりを使うことができる。</li> <li>・事前の支援や視覚的支援を手がかりに、役割を果たすことができる。</li> </ul>

### 3. 単元設定の理由

#### (1) 児童観

本学級の児童は障がいの特性や実態は様々であるが、環境設定の工夫や視覚的支援等、個々に応じた支援をすることで、活動に見通しをもって取り組むことができるようになってきている。また、人と関わることが好きな児童が多く、自分で描いた絵を教員や友だちに見せに行ったり、お互いの絵本を交換したり、友だちの発表に注目したり、掲示している名前を読み上げたりする姿が見られるようになってきた。いずれの児童も、様々な方法で友だちに興味関心をもって関わる場面が増えてきている。一方で、相手に自分の気持ちを伝えることが難しい児童がほとんどであり、嫌なことがあると手が出てしまったり、「ノー！」と拒否したり、何事も競ってしまい自分の活動に集中できなくなったりする場面も多く見られる。

そこで、これまでの生活単元学習では、季節の制作や行事を通して友だちを意識したり関わったりすることができるような活動を設定してきた。前期には海ドームを制作し、好きな海の生き物やビーズを選択してペットボトルに入れたり、洗濯のりに色づけたりする活動に「わあ！すごい！」「○○さんと一緒！」と声をあげて喜ぶ様子が見られた。また、色づく途中の海ドームを振りながら色が変化していく様子に注目する姿も見られ、意欲的に活動に取り組む様子が見られた。また、お月見制作では、色をつける友だちの様子を見て活動に参加したいと教員に意思を伝えたり、友だち同士でローラーや筆の貸し借りをしたりする様子が見られた。みんなで協力して月や雲に色をつけたり、綿をつけたりして大きな作品をつくることに達成感や喜びを味わっている様子が見られた。10月からは「ハロウィンパーティーをしよう」という単元を設定し、行事に親しむ活動を行った。マント作りでは、カサカサと鳴る袋に触れながらシールを貼ったり、作ったマントをつけて友だちに見せ合いながら一緒に写真を撮影したりして楽しむ様子が見られた。ボウリングゲームの活動においては、それぞれの児童に倒れたピンの数を数える係やピンを立てる係等の役割を設定した。それぞれの児童が自分の役割について理解し、教員の話聞いて役割を果たそうとしたり、他の児童が役割に取り組む様子に注目したりする姿も見られた。

#### (2) 単元観

本単元では、「クリスマスパーティーをしよう」を設定した。クリスマスは児童にとって身近で親しみやすい題材であり、活動に対するイメージをもちやすい。また、本学級の児童はイメージをふくらませたり自ら素材に関わろうとしたりして制作活動に意欲的に取り組むことができる児童が多い。特別支援学校学習指導要領解説(各教科等編)の第4章第4節第1生活科の3(1)イの「オ.人との関わり」では、「(ア)教師や身の周りの人に気づき、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとする。こと。(イ)身の周りの人との関わり方に関心をもつこと。」と示されている。全員で大きなツリーに絵の具で色を塗ったり、制作したオーナメントを一緒に飾り付けたりすることによって、共同して制作する楽しさや喜びを感じるとともに、自分の作品だけでなく友だちの作品の良さにも気づいてほしい。そのために、本単元ではそれぞれの児童が制作した作品を発表したり、友だちの作品を手にとって見たりできるようにする。学級全体での発表や作品交換を通して児童同士のコミュニケーションを図っていきたい。また、振り返りで頑張った活動やできあがった作品の気に入った箇所等を自分の言葉で伝えたり、スライドや絵カードで選択したりすることで、自分の思いを表現できる機会を設ける。

また、クリスマスパーティーでは、司会やお菓子作りゲームの準備、ツリーの点灯式等の様々な場面で役割を設定する。3(2)イの「カ.役割」では「(ア)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしよう

とすること。(イ)簡単な係活動などの役割について知ること。」と示されている。自分の役割で友だちが盛り上がりパーティーが円滑に進んだりすることによって得られる達成感や、みんなのために役割を果たし感謝される喜びを味わって欲しいと考えている。

### (3)指導観

本単元は、①生活科、②国語科、③図画工作科、④自立活動の教科等と関連付けながら進めていく。

目標・内容としては、①生活科：オ人との関わり、カ役割、②国語科：A 聞くこと・話すこと、B 書くこと、③図画工作科：A 表現、B 鑑賞、④自立活動：3人間関係の形成(1)他者とのかかわりの基礎に関すること、(4)集団への参加の基礎に関することの部分を主に取り上げ、単元を構成する。

①生活科に関する内容としては、ゲームを通して友だちがラッピングしたお菓子を手に入れたり、自分がラッピングしたお菓子を友だちが手に入れたりすることで、お互いを意識することをねらう。またパーティーの準備や本番においてそれぞれの児童に役割を設定する。その際に自分の仕事内容が確認できるよう、イラストや写真等が示された手順書を使用する。自分の係を担うことで、周囲から感謝される経験を積み重ね、自分自身のことだけでなく友だちや学級のためにお手伝いをする意欲を高めていってほしい。

②国語科に関する内容としては、クリスマスドームやクリスマスツリーの点灯式、作品交換において友だちとのやりとりの場面を設定する。係の友だちにドームを渡したり作品交換をしたりする際に、「どうぞ」「お願いします」「ありがとう」等の場面を考えて伝え方を学ぶことができるようにする。また、メッセージカード作りでは、自分でクリスマスやお菓子作りゲームに関連する言葉を考えたり、「メリークリスマス」等の文字をマッチングさせてシールを貼ったりする活動を通して、カードを受け取った相手を思いながら活動に取り組むことができるようにする。

③図画工作科に関する内容としては、大きなツリーを友だちと一緒に絵の具で色づけたり、布、毛糸、紙粘土、カプセルやビーズ等の様々な素材でオーナメントやクリスマスドームを制作したりする。様々な素材に触れ、素材の形を変えながら制作することで身近な素材への興味関心をもってほしいと考えた。また、オーナメントの制作後、クリスマスツリーにできあがったグッズや雪を表現した綿等の飾り付けをすることで、変化していくツリーの様子に気づき、クリスマスパーティーに期待感を膨らませることができるよう工夫する。また、鑑賞としてクリスマスドームの制作後は、それぞれの児童の作品を交換したり点灯式をしたりする活動を設定することによって、友だちの作品に注目するきっかけを作りたい。自分の作品との共通点や相違点を見つける楽しさを味わいながら関わりの一いつになってほしいと考えている。

④自立活動に関する内容としては、交換会で友だちの作品を鑑賞したりドームを受け渡したりする活動など、一緒に学習する友だちの存在を意識しながらやりとりを行う場面を意図的に設定する。交換する相手に注目するだけでなく、他の友だちの作品にも注目するきっかけとなり、他者への関心を広げることにつながると考える。また、点灯式やクリスマスパーティーでは司会や準備・片付け等の役割を設定する。役割ボードや手順書等を使用し、視覚的に自分の役割について確認できるようにすることで、集団の中での役割が分かった上で活動に参加する経験を積んでほしい。

本時では、導入で9月に制作した海ドームを提示する。一度経験した学習を思い出すことで、見通しをもって意図的に本単元の活動に取り組むことができると考えた。また、完成したドームの下にライトを設置し、スイッチを押す係をB児が担当するように設定した。B児の役割が活動の盛り上がり

に直接つながることで、自分の役割を果たした達成感や学級が盛り上がる一体感を味わってほしいと願っている。

#### 4. 単元の目標

(①「知識及び技能」②「思考力、判断力、表現力等」③「学びに向かう力、人間性等」)

- ・手順書や教員の支援を手がかりに、オリジナルのクリスマスグッズやメッセージカードを作成することができる。①
- ・必要な手順書等を活用して、自分の役割を果たすことができる。②
- ・振り返りの場面において、活動や質問に応じた実物や映し出された画面を選択したり、頑張ったことや気に入った箇所を発表したりすることができる。③
- ・クリスマスパーティーに飾るグッズの制作やメッセージカード作りに進んで取り組むことができる。③

#### 5. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・手順書や教員の支援を手がかりに、オリジナルのクリスマスグッズやメッセージカードを作成している。	・必要な手順書等を活用して、自分の役割を果たすことができる。	・振り返りの場面において、活動や質問に応じた実物や映し出された画面を選択したり、頑張ったことや気に入った箇所を発表したりしようとしている。 ・クリスマスパーティーに飾るグッズの制作やメッセージカード作りに進んで取り組もうとしている。

#### 6. 指導計画(全 11 時間)

- ・ツリー作りをしよう・・・・・・・・・・ 1 時間
- ・オーナメント作りをしよう・・・・・・・・ 3 時間
- ・パーティーの準備をしよう・・・・・・・・ 2 時間
- ・買い物に行こう・・・・・・・・・・・・・ 2 時間
- ・クリスマスドーム作りをしよう・・・・ 1 時間(本時)
- ・クリスマスパーティーをしよう・・・・ 2 時間

## 7. 本時の目標

①「知識及び技能」②「思考力・判断力・表現力等」③「学びに向かう力、人間性等」

A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印を手がかりにモールをはさみで長さ1 cm 程度に切ることができる。①【<b>図画工作科1段階A表現ア(ア)</b>】</li> <li>・点灯式後にライトとスイッチを集めて片付けることができる。②【<b>自立活動3-(4)、生活科2段階カ(ア)</b>】</li> <li>・写真付き手順書を手がかりに一人でクリスマスドームを制作することができる。③【<b>自立活動4-(5)、図画工作科1段階A表現ア(ア)</b>】</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の支援を手がかりにビーズやパーツをボトルに入れることができる。①【<b>自立活動5-(5)</b>】</li> <li>・好きな色のラメを3色の中から選択することができる。②【<b>図画工作科1段階A表現ア(ア)</b>】</li> <li>・隣の席の友だちにクリスマスドームを渡すことができる。②【<b>自立活動3-(1)</b>】</li> <li>・点灯式の場面において教員の支援を手がかりに、ライトのスイッチを押すことができる。②、③【<b>自立活動3-(4)、4-(1)、生活科1段階カ(イ)</b>】</li> </ul>
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな色や大きさのラメを選択し、ボトルにティースプーン2杯分入れることができる。①【<b>自立活動5-(5)</b>】</li> <li>・点灯式後に全員分のクリスマスドームを集めて片付けることができる。②【<b>自立活動3-(4)、生活科2段階カ(ア)</b>】</li> <li>・自分で写真付き手順書をめくったり、「教えてください」と教員に伝えたりして進んで制作することができる。③【<b>自立活動4-(5)、図画工作科1段階A表現ア(ア)</b>】</li> </ul>
D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できあがったクリスマスドームに蝶々結びでリボンをつけることができる。①【<b>自立活動5-(5)</b>】</li> <li>・点灯式の場面において、全員分のクリスマスドームをライトの上に置くことができる。②【<b>自立活動3-(4)、生活科2段階カ(ア)</b>】</li> <li>・写真付き手順書を手がかりに一人でクリスマスドームを制作することができる。③【<b>自立活動4-(5)、図画工作科1段階A表現ア(ア)</b>】</li> </ul>
E	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印を手がかりにモールをはさみで2 cm 程度に切ることができる。①【<b>図画工作科1段階A表現ア(ア)</b>】</li> <li>・隣の席の友だちにクリスマスドームを受け渡しすることができる。②【<b>自立活動3-(1)</b>】</li> <li>・作品を交換した後に全員分のクリスマスドームを集めることができる。②【<b>自立活動3-(4)、生活科1段階カ(イ)</b>】</li> <li>・自分で写真付き手順書をめくったり、クレーンや発声等で教員に援助要求したりして進んで制作することができる。③【<b>自立活動4-(5)、図画工作科1段階A表現ア(ア)</b>】</li> </ul>

8 本時の展開

時間 (分)	学習活動	指導上の留意点		評価の観点	評価方法
		T1	T2		
1分	1.はじめのあいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を開始することを伝える。</li> <li>・挨拶をしてくれる児童を呼びかけ、指名する。</li> <li>・カードを指差したり、「ピシッ」「グーピタピン」等の言葉かけをしたりして姿勢を正すよう促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢が崩れている児童がいる場合は、姿勢を正すように言葉かけや身体的支援を行う。</li> </ul>		
8分	2.本時の活動内容を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし</li> <li>・つくる</li> <li>・作品交換</li> <li>・点灯式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期に制作した海ドームを提示し、見通しをもって活動できるようにする。</li> <li>・本時の流れをホワイトボードで説明する。</li> <li>・作品交換と点灯式での係についてホワイトボードで説明する。</li> <li>・Keynoteのスライド画面をTV画面に提示し、「クリスマスドーム」の作り方を児童と一緒に確認する。</li> <li>・机を移動するよう促す。</li> <li>・机移動後、道具や材料が入ったかごを配る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スライドや海ドームに注目するよう言葉かけや指差しで促す。</li> <li>・係の説明を聞くよう言葉かけや指差しで促す。</li> <li>・B児と一緒にめぐり式の手順書で手順を確認する。</li> <li>・B児と一緒に机を移動させる。</li> </ul>		
20分	3.クリスマスドームを作る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①モールを切る。</li> <li>②ラミネートにイラストを描く。(A、C、D児)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・C児に1工程ごとに分かれた写真付き手順書を確認して活動を進めていくよう促す。活動に必要な材料は随時取りに来るように言葉かけを行う。(必要に応じてパーティションを活用する。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A児に写真付き手順書の終わった工程にチェックをつけながら活動を進めていくよう促す。順番通りに進めているか随時確認を行う。</li> <li>・A児にクリスマスに関連するイラスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手順書や教員の支援を手がかりに、クリスマスドームを制作することができる。(全員)</li> <li>・印を手がかりにはさみでモールを切ることができる。(A児、</li> </ul>	観察 発言

	<p>③ビーズやフィギュア等を選び、ボトルに入れる。</p> <p>④ラメを選び、2杯分ボトルに入れる。</p> <p>⑤洗濯のりを注ぐ。</p> <p>⑥キャップを閉め、ボトルを振る。</p> <p>⑦道具の片付けをする。</p> <p>⑧机を元の位置に戻す。</p>	<p>・D児に写真付き手順書を見て活動を進めていくよう促す。</p> <p>・E児と一緒に手順書を確認しながら制作の補助を行う。</p> <p>・C、D、E児の制作の補助や言葉かけを必要に応じて行う。</p> <p>・自分なりのドームを制作している様子に対して「〇色のビーズいいね!」「クリスマスっぽくなってきたね!」等の称賛をする。</p> <p>・ドーム完成後、かごを前に持ってくるよう言葉かけをする。</p> <p>・机を元の位置に戻すよう言葉かけをする。</p>	<p>を下書きするよう促す。下書きと同じようにラミネートに描くように言葉かけをする。</p> <p>・B児と一緒に手順を確認しながら制作の補助を行う。</p> <p>・B児がフィギュアを選択することが難しい場合は、フィギュアを2つ提示して選択できるようにする。</p> <p>・自分なりのドームを制作している様子に対して「〇〇さんの絵、上手!」「～がいい感じだね」等の称賛をする。</p> <p>・ドーム完成後、かごを前に持って行くよう言葉かけをする。</p> <p>・机を元の位置に戻すよう言葉かけをする。</p>	<p>E児)</p> <p>・教員の支援を手がかりにビーズやパーツをボトルに入れることができる。(B児)</p> <p>・好きな色のラメを3色の中から選ぶことができる。(B児)</p> <p>・ティースプーン2杯分のラメをボトルに入れることができる。(C児)</p> <p>・ボトルに蝶々結びでリボンをつけることができる。(D児)</p>	
10分	<p>4.振り返りをする。</p> <p>①ドームの交換</p>	<p>・完成したクリスマスドームを交換することを伝える。</p> <p>・タイマー(30秒)が鳴ったら次に渡していくよう言葉かけをする。</p> <p>・「何が入っているかな?」等の他の児童が作ったドームとの共通点や相違点に気づくことができるよう言葉かけや指差しをする。</p> <p>・全員分の交換が終わったら、役割ボードをE児に提示し、クリスマスドームを集めるよう促す。係の仕事ができたら花</p>	<p>・タイマーが鳴ったら隣に渡すよう促す。</p> <p>・「〇〇が入っているよ!」等他の児童が作ったドームとの共通点や相違点に気づくことができるよう言葉かけや指差しを行う。</p> <p>・全員分の交換が終わったら T1 に注目するよう言葉かけや指差しをする。</p> <p>・児童の係が終わったら、ハイタッチや言葉かけで称賛する。</p>	<p>・自分の役割を果たすことができる。(全員)</p> <p>・自分や友だちが制作したクリスマスドームに注目することができる。(全員)</p> <p>・クリスマスドームを集めることができる。(E児)</p>	<p>観察</p> <p>観察 発言</p>

		丸カードを貼って賞賛する。			
	②点灯式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役割が書かれたホワイトボードをD児に提示し、ライトの上にドームを置くよう促す。係の仕事ができたなら花丸カードを貼って賞賛する。</li> <li>・役割ボードをB児に提示し、呼名する。</li> <li>・電気を消し、カウントダウンをする。</li> <li>・「光ると綺麗だね！」等の光るクリスマスドームに注目するよう言葉かけや指差しをする。</li> <li>・B児がスイッチを押すことができたなら拍手やボディタッチ、役割ボードに花丸カードを貼って賞賛する。</li> <li>・役割ボードを提示し、A児とC児に「係の仕事、お願いします！」と言葉かけをする。係の仕事ができたなら花丸カードを貼って賞賛する。</li> <li>・今まで制作してきたグッズやメッセージカードをTV画面や具体物で提示し、活動を振り返る。</li> <li>・次回がクリスマスパーティー本番であることを予告する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の係が終わったら、ハイタッチや言葉かけで称賛する。</li> <li>・B児と一緒に前に出てくる。カウントダウン後、B児にスイッチを押すよう促す。必要に応じて指差しや身体的支援をする。</li> <li>・「きらきらしているね」等の光るクリスマスドームに注目するよう言葉かけや指差しを行う。</li> <li>・TV画面や具体物に注目するよう言葉かけや指差しをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリスマスドームをライトの上に置くことができる。(D児)</li> <li>・スイッチを押し、ライトを点灯させることができる。(B児)</li> <li>・クリスマスドームを集めて片付けることができる。(C児)</li> <li>・ライトとスイッチを集めて片付けることができる。(A児)</li> </ul>	観察
1分	5.おわりのあいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を終了することを伝える。</li> <li>・挨拶をしてくれる児童を呼びかけ、指名する。</li> <li>・カードを指差したり「ピシッ」「グーピー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢が崩れている児童がいる場合は、姿勢を正すように言葉かけや身体的支援を行う。</li> </ul>		

		タピン」等の言葉かけをしたりして姿勢を正すよう促す。		
--	--	----------------------------	--	--

### 9.準備物

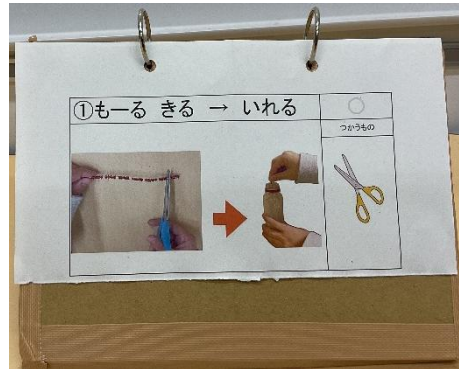
○本時の活動全般：TV、iPad、生単機、児童机、役割ボード

○制作活動：手順書、ボトル、ビーズ、フィギュア、モール、ラメ、ティースプーン、洗濯のり、ラミネート、油性ペン、はさみ、リボン、かご×2

○点灯式：ライト×5、スイッチ×1



役割ボード



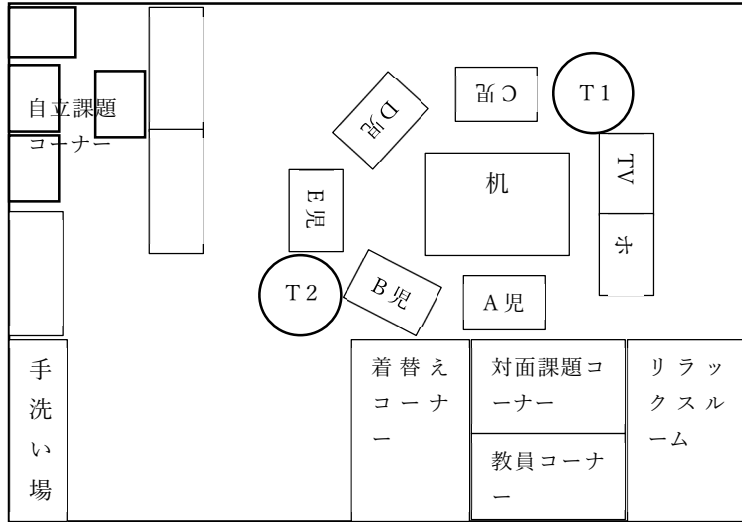
手順書



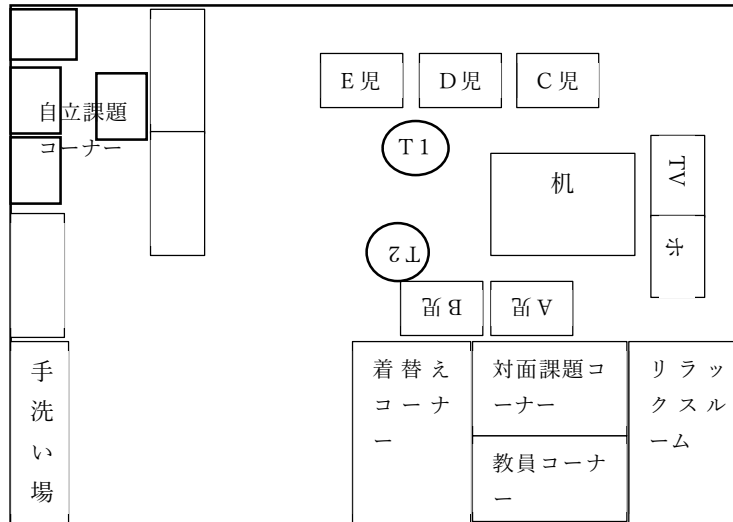
スイッチ、ライト

# 10. 教室配置

## 学習活動 1・2・4・5



## 学習活動 3



ホ：ホワイトボード